

父が残したシベリア抑留の記録

後世に伝える平和の尊さ

今年で戦後76年目を迎えます。日本では終戦と考えられている昭和20年8月15日より後、ソ連軍の捕虜となりシベリアの奥地へと送られ、収容所を転々としながら強制労働に従事せざるを得なかった多くの日本人がいます。約57万5千人のうち約5万5千人が亡くなりました。約4年間、そのような日々を送りながら、多くの絵と文章で精緻な記録を残してきた山下静夫さんの実体験を、静夫さん本人から語り継がれた子、山下喜史さんの話から紹介します。問い合わせは市国際・平和課 ☎784・8148へ。



山下静夫さん

父のシベリア抑留

1450日
山下 喜史

はじめに

父、山下静夫は、大正7年神戸市に生まれ、県立第一神戸商業学校を卒業後、在阪海運会社に勤務中の昭和18年に応召、姫路師団の輜重兵として満州に渡り、同地で終戦を迎え、ソ連軍に捕えられて捕虜としてシベリアに送られました。

極寒の地で満足な住居も食料もない中、重労働に耐え24年秋、舞鶴に帰還したのです。

抑留画が語る厳しい境遇

父は私が物心がつくつかつかな



伐採-原木の搬出(昭和21年冬)

父を襲った戦時中と戦後抑留中の数々の厳しい境遇について、私が詳しく触れることができた。



真夜中の用足しと無限の星空

父の手記から

「ソ連兵に監視されながらの行進(日本への帰国と騙され、実際はシベリアに連れていかれている)。虜囚の旅、凍てついた路面に足が滑る。鶴が3羽南に渡って行くのを見て、たまたまなく羨ましかった。兵隊たちは、皆日本へ帰ると勇んでいるだけに気分が重かった。シベリアってどんなところだろう。」

「9月になるととめつきり冷え込みが強くなり、伐採の手に風花が舞った。帰国の目途のないシベリアの生活に重苦しい冬の前触れを見ることはたまらなかつた。そして、この日から3日後、初雪が降り、2度目の冬を迎えていた。またあの恐ろしい冬が迫る。」

父への思い

幼い頃からの父の話の断片が

「極寒の朝、寮から出て外気に触れた瞬間ピンと張りつめた大気が強烈な圧力で身体を締め付け、氷の鑄型に嵌め込まれたような気分になり足裏から背筋から寒気が突き刺さる。」

最後に

父は舞鶴に帰還した際にマラリアを発症し、入院した病院で看護師だった母と出会い私が生まれましたと聞いています。

シベリア抑留がなければ、私はこの世にいなかったわけで、シベリアの厳しい環境のなか幾度も生死の淵をさまよいつつながらも知恵を絞ってなんとか生きて帰ってきた父、その後も幾多の苦勞のなかで私を育ててくれた、晩年は母に先立たれたものの、不自由な一人暮らしのなか創作活動に精力的に取り組んでいた父の姿に凡庸な一人息子はただ頭が下がるばかりです。



お盆供養物 回収します

8月15日(日)午後4~7時(荒天順延)に▽伊丹スポーツセンター第2駐車場(図1)▽昆陽池公園多目的広場(図2)▽児童会館こらくる(図3)▽神津交流センター(図4)——でお盆の供養物を回収します。

無料。当日直接、会場へ。

周辺道路が混雑するため、各図の矢印に従って来場してください。

自動車での来場はできるだけ遠慮ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線香の用意はありません。混雑時は距離を保って待つなど、密にならないよう協力をお願いします。

市生活環境課 ☎781-5371



平和都市宣言

平和は人が生きるための大本です。戦争はかけがえない生命を奪い、幸せをふみにじります。

いま、世界は恐ろしい核兵器をなくし、惨たらしい戦争のない社会をつくらうと、ようやく歩みはじめました。が、ここで心をゆるめてはなりません。

戦争は人の心の中にひそんでいるのです。

人類が幸せを分かち合える地球環境をつくり、自由と人権を尊び、差別や貧困をなくすことも、すべて平和の問題です。

私たち市民は、平和な社会を築くことを誓い、ここに平和都市を宣言します。

平成2年11月10日 伊丹市

世界平和カリヨン 本市カリヨンが加盟

6月1日、平和のためにカリヨンを活用している世界のカリヨン

◆画文集を貸し出し 山下静夫さんが書いた「シベリア抑留1450日」(上写真)を図書館「ことば蔵」で貸し出しします。

◆写真(右写真)が加盟しました。同カリヨンは、いつまでも続く友好と平和を願いベルギー王国ハッセルト市から贈られたものです。

市国際・平和課 ☎784・8148。



原爆死没者に黙とうを

76年前の8月6日午前8時15分広島市に、8月9日午前11時2分長崎市に原爆が投下され、多くの尊い命が失われました。

原爆死没者のご冥福と核兵器のない世界を願い、各日時に1分間の黙とうをお願いします。

また、8月15日は終戦記念日です。全ての戦争犠牲者のご冥福と世界の恒久平和を願い、正午から1分間の黙とうをお願いします。

市国際・平和課 ☎784-8148